

【新規受贈資料紹介】「望月コレクション」—黄檗関係墨蹟編—

塚田 博

はじめに—受贈の経緯—

2020年度、神奈川県横須賀市在住の望月惟司氏より、禅文化歴史博物館（以下「当館」）に資料寄贈の申し出があった。申し出の内容は、望月氏がこれまで収集してきた墨蹟等を一括して当館に寄贈したいというものであった。当館ではこれを「望月コレクション」（仮称）と称し、2020年11月より搬入を開始し、現在も順次進めているところである。

同コレクションの中でも特筆すべきは、黄檗関係禅僧の墨蹟類が、墨蹟全体の半数近くを占めていることである。当館ではこれまで禅僧の墨蹟を中心に資料の収集を行ってきたが、約250件（対幅等も含まれるので「件」とした、以下同）の墨蹟資料のうち、大半は曹洞宗禅僧の墨蹟で占めている。次いで臨済の禅僧であり、黄檗に関してはわずか14件であった。今回の受贈により、黄檗関係禅僧の墨蹟が格段と充実することになる。当館では同コレクションの性格から、受贈に妥当であると判断し、寄贈の申し出を受け入れた。

望月氏は、ご自身が収集してきた多様なコレクションのうち、まずは黄檗関係を優先して当館に収めたいというご意向があり、これまでの搬入作業で、黄檗関係墨蹟の搬入はほぼ終了した。搬入後も作者の調査、状態確認などの受け入れ作業を進め、黄檗については概要を把握できたことを受け、本稿ではその報告を行うものである。

1. 黄檗関係墨蹟の概要

一般的にいう黄檗宗とは、明治9（1876）年に禅宗の一派として独立した以降の名称であり、それ以前は黄檗派または臨済宗黄檗派と称していた。黄檗派は厳密にいえば隠元門下の法脈を指し、隠元の師である費隱や、隠元より先に渡来した法姪に当たる道者などを含めると「明朝禅」の呼称が適切と思われるが、今回対象とした受贈資料はほとんどが隠元門下であるため、本稿では便宜上「黄檗関係」の語を使用したことを断っておく。

本稿で報告する墨蹟の数は、人物でいうと114名分、総数は219件にのぼり、後掲資料目録にその一覧を示した。本来であれば1件ずつ表題をあげて示すべきであるが、紙幅の都合もあり、今回は作者1名に対して何件という概要把握にとどめた。

隠元（9件）・木庵（11件）・即非（6件）といったいわゆる「黄檗三筆」はもとより、隠元が開山となった黄檗山萬福寺（京都府宇治市）の歴代山主の墨蹟が、開創当初から近現代の山主に至るまで大方網羅されている。

資料目録に続けて、末尾に関係法系図を示した。隠元とその法嗣および法孫の者たちに目を向けると、41名で109件と全体の半数強を占めていることが特筆できる（内訳：隠元9件／法嗣16名・55件／法孫24名・45件／※便宜上、法嗣には隠元の師費隱・法姪道者、隠元に随った無上・無心・独立・惟一を含め、法孫には木庵に随った雪機、即非に随った若一を含めている）。隠元をはじめ彼の法嗣・法孫の世代は、初期黄檗派の日本における成立・展開および、それに伴う黄檗文化といった新たな禅文化の形成に、大きな役割を果たした世代である。これら初期黄檗派の資料は、禅の墨蹟資料・禅文化資料として高く評価されるべき資料群であり、こうした墨蹟が体系的に収集できたことは、国内外に対して誇ることのできるコレクションとなるといっても過言ではない。

2. 黄檗関係以外の墨蹟

望月コレクションには、黄檗関係以外にも多様な墨蹟資料が存在する。当館では数的比率から、「1.黄檗関係」「2.他宗派僧侶」「3.文人その他」に分類整理を試みている。「2.他宗派僧侶」には臨済宗をはじめ、当館の主要収蔵資料に大きく関わる曹洞宗の禅僧の墨蹟などが83件含まれ、「3.文人その他」は文人・儒学者・武将・政治家・画家など多様な人物が168件含まれている（人名未詳も含む）。これらの搬入は今後も続き、人名等も調査中であるため、稿を改めて報告したい。

同コレクションの総件数はいまだ把握しきれていないが、2021年4月までで470件におよび、望月氏によれば9割方

の受け渡しが終わったということである。

おわりに—今後の展望と課題—

まず資料の搬入に伴う、受け入れ作業について述べたい。

- ①資料の状態確認：望月コレクションの墨蹟類（掛軸・額など）はおおむね良好な状態に保たれているが、破損・欠損や表具荒れをしているものも少なからず含まれている。まずは状態確認をし、良好な資料と修復を行う資料に分別する。
- ②資料調査票の作成：①と並行して資料の採寸など行う。その際箱書き・軸裏書きや、いわゆる付属資料等にも留意し、現状の把握・記録に努める。この時点では仮番号を付す。
- ③資料の燻蒸：良好な状態が多いコレクションではあるが、博物館に収蔵するに当たっては必須の作業である。
- ④資料の修復：損傷している資料を修復し、保存・展示など供することができる状態にする。
- ⑤資料の登録：適切な方法で整理番号を付し資料登録する。同時に正式な寄贈目録を完成させる。

これだけの大規模な数の資料受け入れは、当館にとって初めてのことであった。全ての作業を終え、目録資料集の刊行に至るには、数年の期間を要するであろう。

喫緊の課題としては、収蔵場所の確保があげられる。当館の収蔵庫は狭隘であり、すでに望月コレクションを収蔵できるスペースはない。博物館施設として恥ずべきことではあるが、作業室・鑑賞室といった博物館学講座の実習スペース、あるいは廊下に食い込んで仮置きしている状態である。資料保護の観点からも、早急に館外に適切な場所を確保していく必要がある。

2020年度はコロナ禍により、当館は学外一般者の入館停止、企画展示・諸催事の中止・延期を余儀なくされたが、そのような中、望月コレクションの受贈は、まさに「うれしい悲鳴」であり、その分整理作業に充てることができた。

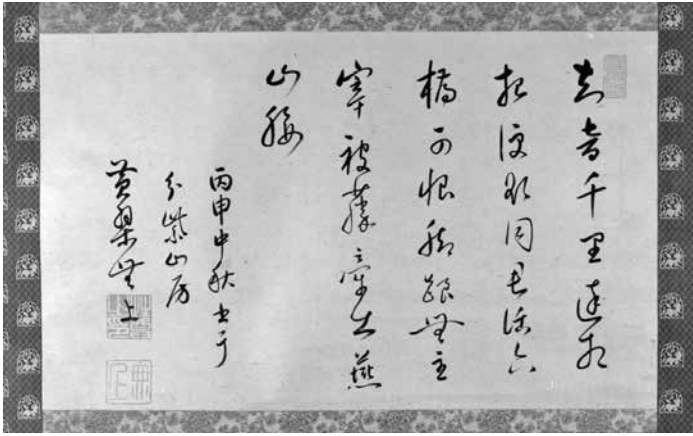
禅および禅文化関係資料の収集に注力してきた当館にとって、今回の受贈はたいへん大きな意義を持ち、貴重な文化財を大幅に増加させ、今後の活動の幅を広げることにもつながることはいうまでもない。同時に望月氏がこれまで生涯をとおして大切に収集してきた文化財の数々を引き継がせていただくことを思うと、その重責に身が引き締まる思いである。

望月氏の寄贈に対して、当館では相応の報いをするにはできないが、積極的な展示公開を行うとともに、『望月コレクション目録』（仮称）など図版を掲載した資料集を刊行し、同コレクションの社会への発信・還元を努めることで、この大恩に対するせめてもの報いとしたい。

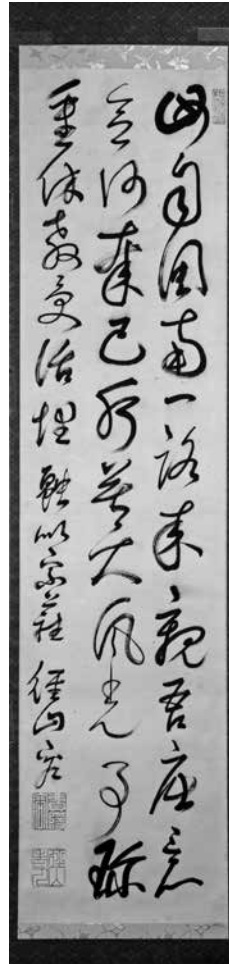
付記：以下、隠元およびその法嗣に当たる者（費隠・道者・無上・無心・独立・惟一を含む）の墨蹟を、人物1名につき1件ずつ図版を掲載する。

（つかだ ひろし 駒澤大学禅文化歴史博物館学芸員）

※Noは目録と対応、数値は本紙縦×横を表す (単位cm)



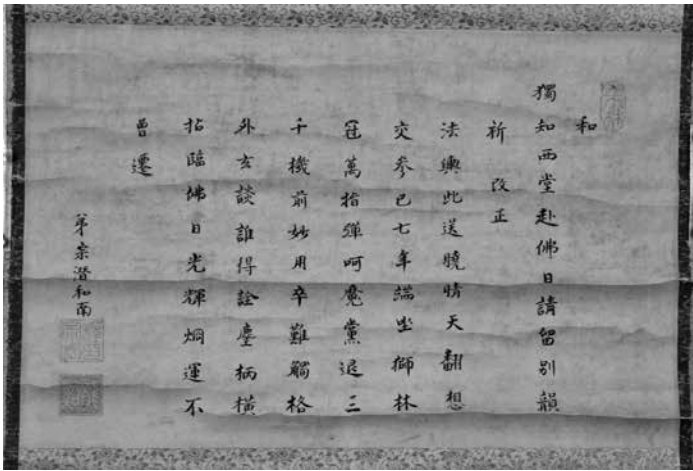
1. 無上性尊 紙本 32.0 × 52.5



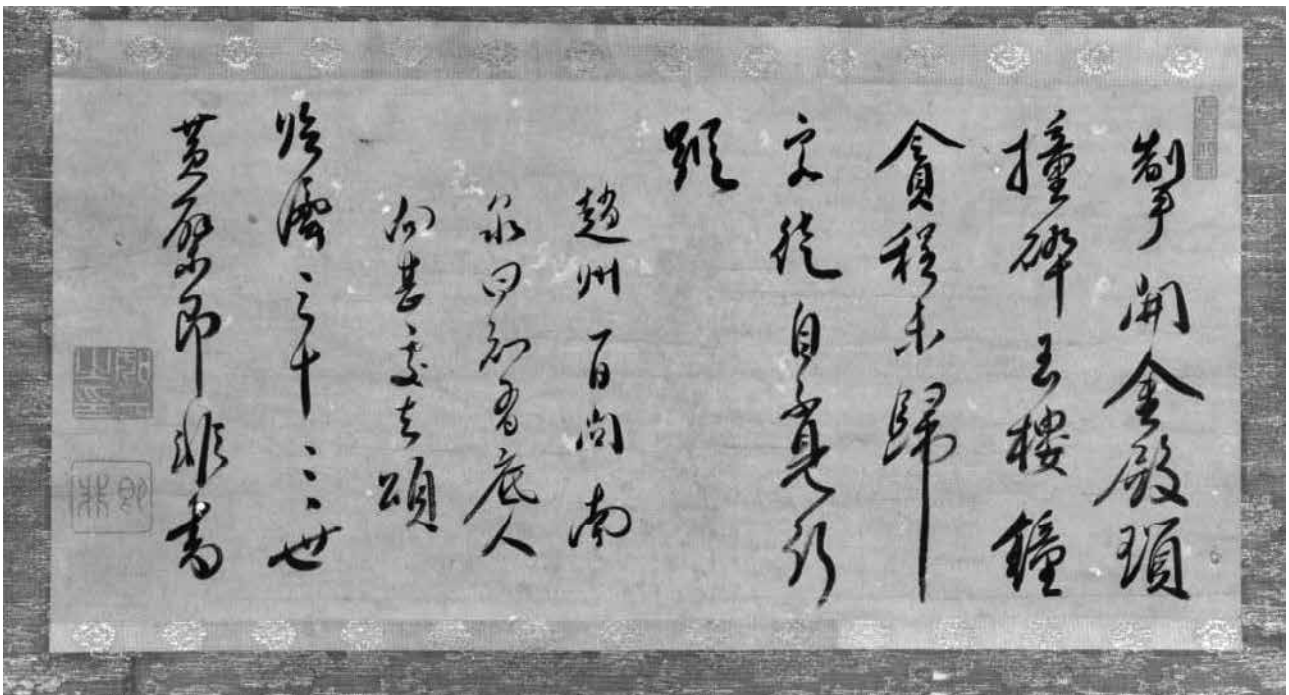
2. 費隱通容
紙本 123.9 × 30.3



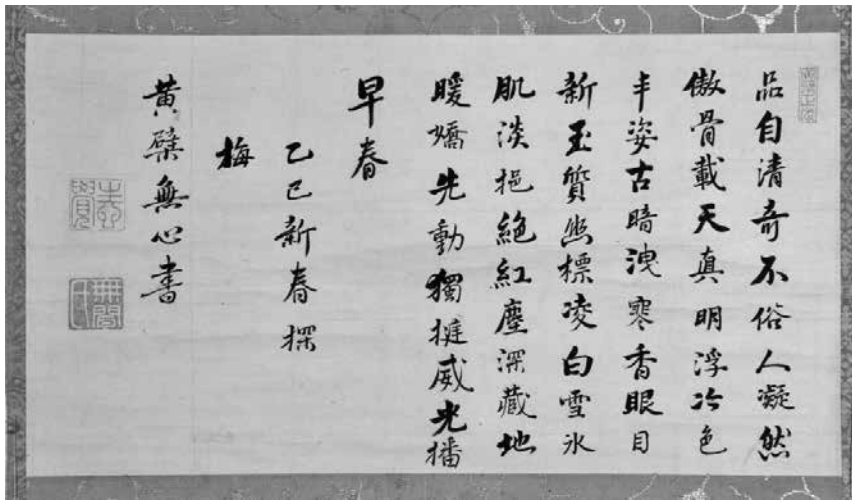
3. 道者超元
紙本 116.5 × 28.5



4. 龍溪性潜 紙本 28.0 × 43.0



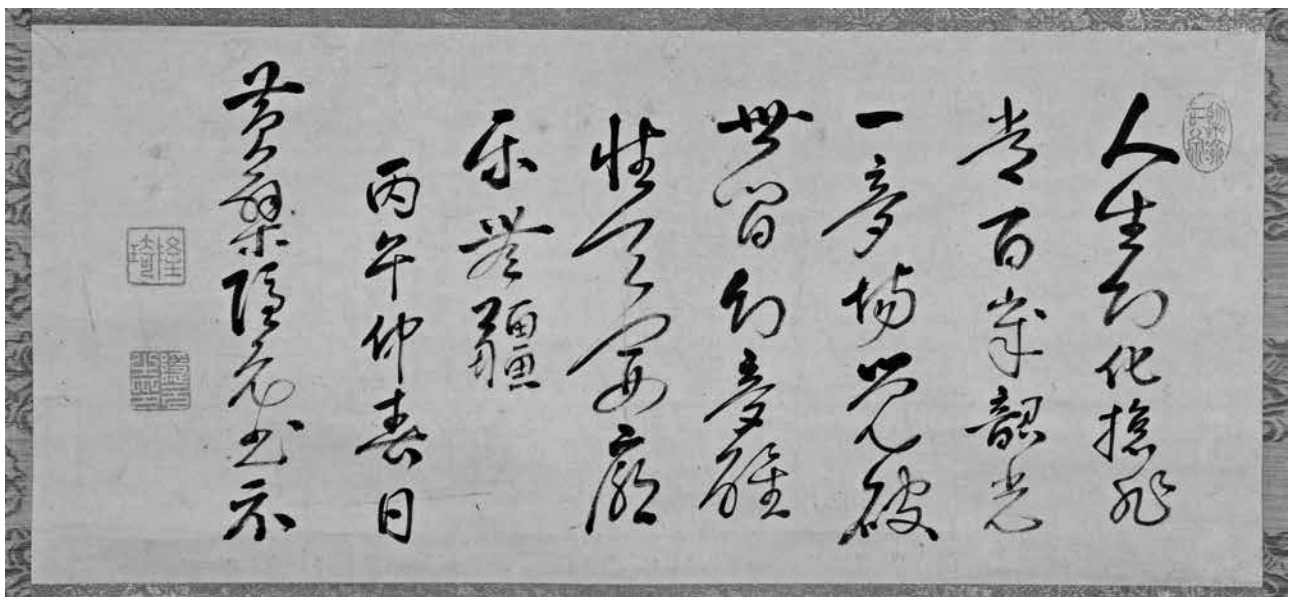
5. 即非如一 紙本 26.0 × 57.9



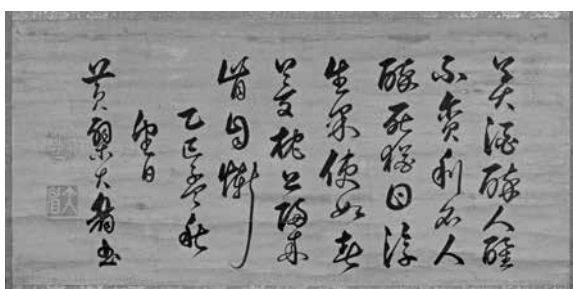
6. 無心性覚 紙本 26.4 × 48.6



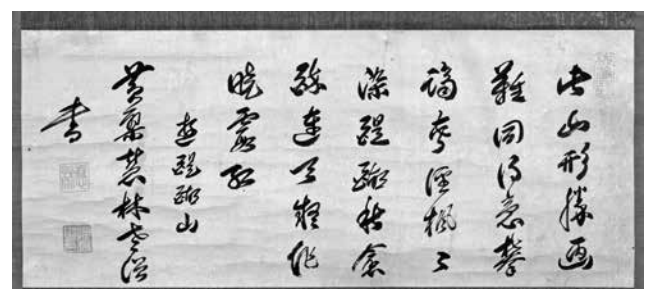
7. 独立性易 絹本 (対幅) 87.5 × 13.1



8. 隱元隆琦 紙本 27.9 × 61.8



9. 大眉性善 紙本 27.1 × 57.1



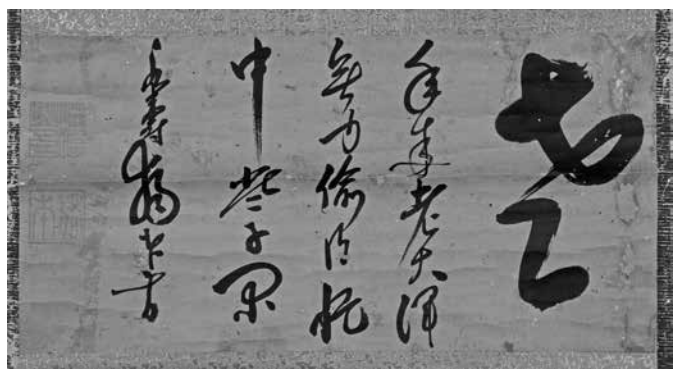
11. 慧林性機 (独知) 紙本 27.4 × 65.0



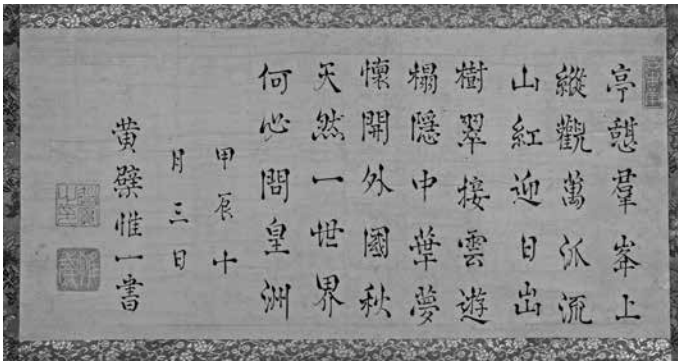
13. 木庵性瑠 紙本 35.5 × 110.4



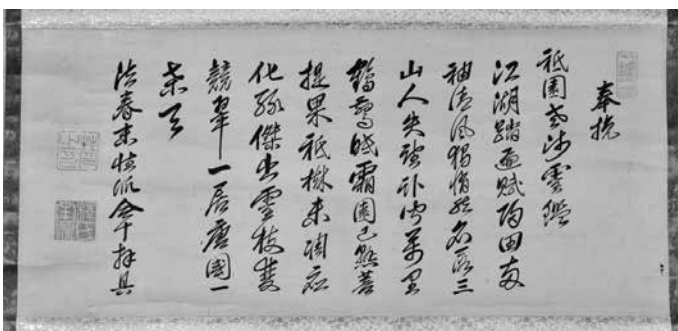
16. 独吼性獅 紙本 27.4 × 45.6



18. 独本性源 紙本 24.8 × 49.0



19. 惟一道実 紙本 26.8 × 55.8



21. 南源性派 紙本 27.7 × 62.0



20. 独照性円 紙本 121.6 × 29.6



29. 独湛性瑩 紙本 90.8 × 15.5

「望月コレクション」黄檗関係墨蹟 資料目録

No.	作者	生年	示寂年	黄檗山世代	件数	備考
1	無上性尊	1631	1660		1	
2	費隱通容	1593	1661		1	
3	道者超元	1602	1662		2	
4	龍溪性潜	1602	1670		1	
5	即非如一	1616	1671		6	
6	無心性覚	1613	1671		1	
7	独立性易	1596	1672		5	
8	隠元隆琦	1592	1673	黄檗山開山	9	うち額装3
9	大眉性善	1616	1673		2	
10	柏巖性節	1634	1673		2	
11	慧林性機 (独知)	1609	1681	黄檗山3世	5	
12	鉄眼道光	1630	1682		1	
13	木庵性瑠	1611	1684	黄檗山2世	11	うち額装2、卷子1 (木庵性瑠・雪機定然・即非如一・慧林性機・祖芳石峰5名の貼り継ぎ)
14	如拙如巧	? -1669	1687		1	
15	鉄文道智	1634	1688		1	
16	独吼性獅	1624	1688		6	
17	慈岳定琛 (無瑕明智)	1632	1689		1	
18	独本性源	1618	1689		1	
19	惟一道実	1620	1692		2	
20	独照性円	1617	1694		3	
21	南源性派	1631	1692		5	うち額装1
22	高泉性激	1633	1695	黄檗山5世	5	
23	潮音道海	1628	1695		1	
24	雪機定然	1628	1677- ?		1	
25	鉄牛道機	1628	1700		2	
26	鉄崖道空	1626	1703		1	
27	千呆性佞	1636	1705	黄檗山6世	5	
28	喝浪方浄	1663	1706		1	
29	独湛性瑩	1628	1706	黄檗山4世	3	
30	法雲明洞	1638	1706		1	

No.	作者	生年	示寂年	黄檗山世代	件数	備考
31	喝禅道和	1634	1707		1	
32	大機道範	?	1667- ?		1	
33	雪广海潤	1649	1708		1	
34	悦山道宗	1629	1709	黄檗山7世	9	
35	桂巖明幢	1627	1710		1	
36	若一炤元	? -1654	1659- ?		1	
37	別伝道経	1635	1712		1	
38	晦翁宝嵩	1635	1712		1	
39	月潭道澄	1636	1713		1	
40	廓山道昭	1640	1717		1	
41	梅嶺道雪	1641	1717		1	
42	旭如蓮昉	1664	1719	黄檗山10世	1	
43	宝洲道聡	1664	1719		1	
44	鳳山元瑞	1647	1720		1	
45	雲巖道巍	1635	1721		1	
46	慧極道明	1632	1721		3	
47	道本寂伝	1664	1731		3	うち未表具1
48	悦峰道章	1655	1734	黄檗山8世	2	
49	南嶺元勲	1666	1735		1	
50	龍統元棟	1663	1746	黄檗山14世	1	
51	空極実興	1674	1749		1	
52	百拙元養	1668	1749		1	
53	象先元歴	1668	1749		1	
54	百痴元拙	1683	1753	黄檗山16世	1	
55	玉堂元珍	?	1679- ?		1	
56	竺庵浄印	1696	1756	黄檗山13世	5	うち額装1
57	維堂寂室	?	1687- ?		1	
58	月蓬衍澄	?	1735- ?		1	
59	祖眼元明	1673	1757	黄檗山17世	1	
60	月海元照 (高遊外・売茶翁)	1675	1763		2	

No.	作者	生年	示寂年	黄檗山世代	件数	備考
61	独痴浄養	? -1717	1764		1	
62	無染浄善	1693	1764		3	
63	大潮元皓	1678	1768		2	
64	大鵬正鯤	1691	1774	黄檗山15世 黄檗山18世	2	
65	伯珣照浩	1695	1776	黄檗山20世	2	
66	雲宗浄機	1703	1780- ?		1	うち卷子1
67	大成照漢	1709	1784	黄檗山21世	4	
68	海眼浄光	1722	1785		1	
69	悟心元明	1713	1785		1	
70	格宗浄超	1711	1790	黄檗山22世	1	
71	蒲庵浄英	1722	1796	黄檗山23世	1	
72	石窓衍却	1724	1799	黄檗山24世	1	
73	無学浄聡	?	1747- ?		1	
74	弥峰円基	1730	1817		1	
75	妙庵普最	1745	1821	黄檗山26世	1	
76	大愚衍操	1738	1824		2	うち未表具1
77	金猊浄踞	1759	1826	黄檗山27世	1	
78	華頂文秀	1740	1827	黄檗山25世	4	
79	梅嶽真白	1766	1829	黄檗山28世	1	
80	間中浄復	1739	1829		1	
81	齡寿衍福	?	1777- ?		1	
82	璞巖衍曜	1767	1836	黄檗山29世	2	
83	独旨真明	1776	1840	黄檗山30世	1	
84	楚州如宝	1791	1850	黄檗山32世	1	
85	若存通用	1776	1850	黄檗山31世	1	
86	大亀通靈	?	1855		3	
87	良忠如隆	1793	1868	黄檗山33世	1	
88	瑞雲悟芳（御厨）	1798	1869	黄檗山34世	2	うち額装1
89	霖龍如沢（山野）	1805	1883	黄檗山39世	1	
90	独唱真機（花岩）	1815	1889	黄檗山35世	1	

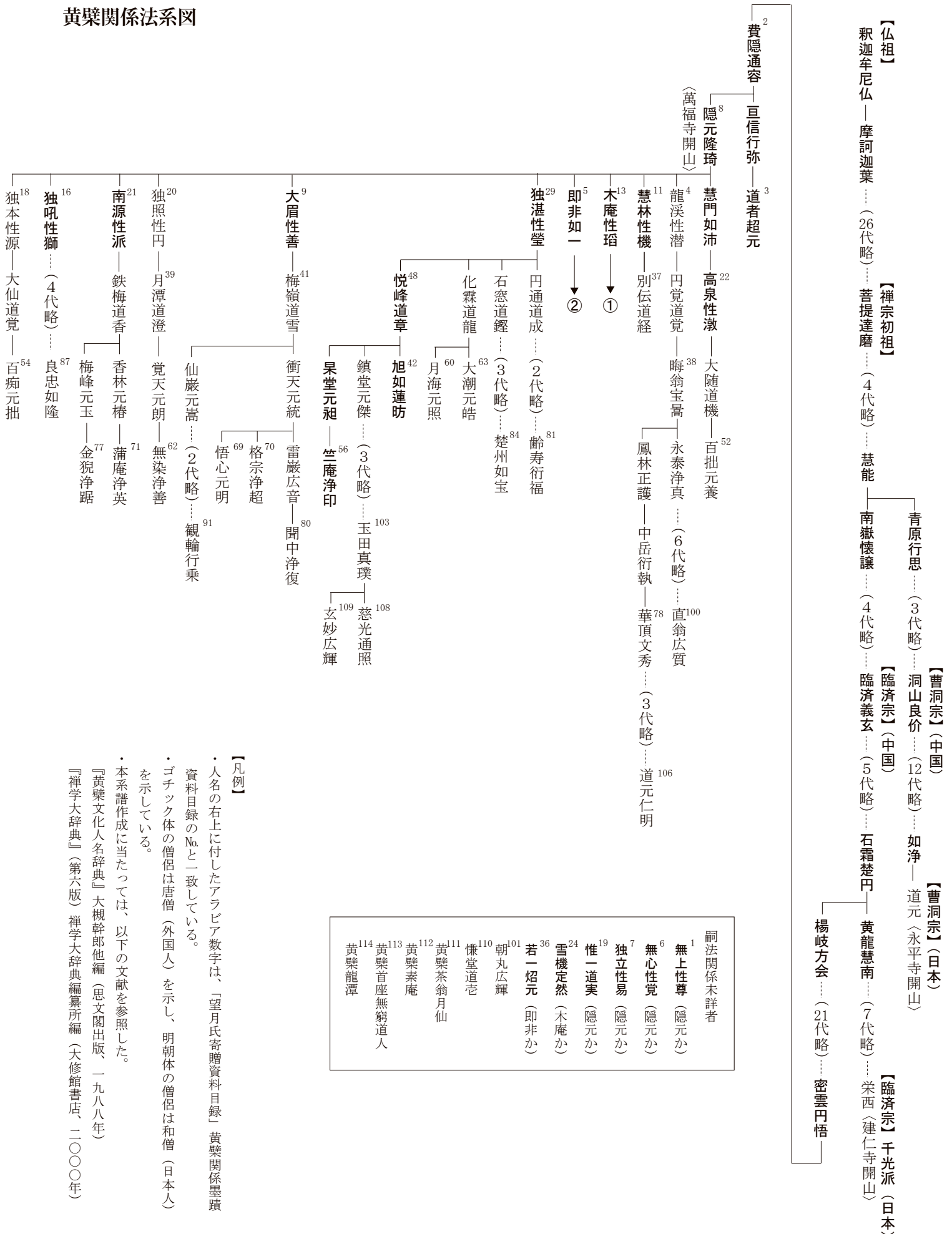
No	作者	生年	示寂年	黄檗山世代	件数	備考
91	観輪行乗 (多々良)	1826	1896	黄檗山40世	2	
92	万丈悟光 (光)	1815	1902	黄檗山37世	1	
93	虎林嘩嘯 (吉井)	1835	1902	黄檗山41世	1	
94	蓬山真仙 (佐伯)	1820	1904	黄檗山42世	1	
95	道永通昌 (林)	1836	1911	黄檗山38世	1	未表具1
96	紫石聯珠 (鷲峰)	1842	1914	黄檗山43世	1	
97	英巖通璋 (龍岡)	1842	1926	黄檗山45世	2	
98	柏樹嘩森 (高津)	1836	1925	黄檗山44世	3	
99	大雄弘法 (隆琦)	1849	1929	黄檗山46世	3	
100	直翁広質 (星野)	1867	1937	黄檗山47世	2	
101	朝丸広輝 (福山)	1882	1946		1	
102	徳寧正悌 (近藤)	1878	1948	黄檗山50世	2	
103	玉田真璞 (山田)	1871	1961	黄檗山49世	6	うち額装1
104	不説仁説 (寺岡)	1891	1962	黄檗山51世	2	
105	宜豊永昌 (木村)	1880	1964	黄檗山53世	1	
106	道元仁明 (溪)	1877	1966	黄檗山52世	1	
107	弘道弘久 (中村)	1887	1967	黄檗山54世	1	
108	慈光通照 (加藤)	1898	1973	黄檗山55世	1	うち額装1
109	玄妙広輝 (村瀬)	1913	1988	黄檗山57世	1	
110	慊堂道壺	?	?		1	人物調査中
111	黄檗茶翁月仙 (月仙達道カ)	?	?		1	人物調査中
112	黄檗素庵 (素庵洗門カ)	?	?		1	人物調査中
113	黄檗首座無窮道人	?	?		1	人物調査中
114	黄檗龍潭	?	?		1	人物調査中

合計 219

【凡例】

- ・本目録では墨蹟の作者を示寂年順に配列し、その墨蹟件数を示した。
- ・示寂年が不明の者は、生年や同世代の世系を鑑み、適宜配列した。
- ・Noの白抜きは隠元およびその法嗣を表す。便宜上、隠元の師費隠・法姪道者、隠元に随った無上・無心・独立・唯一を含めた。
- ・Noの網掛けは隠元の法孫を表す。便宜上、木庵に随った雪機、即非に随った若一を含めた。
- ・（ ）内は別号など、No88以降は俗姓を表す。

黄檗関係法系図



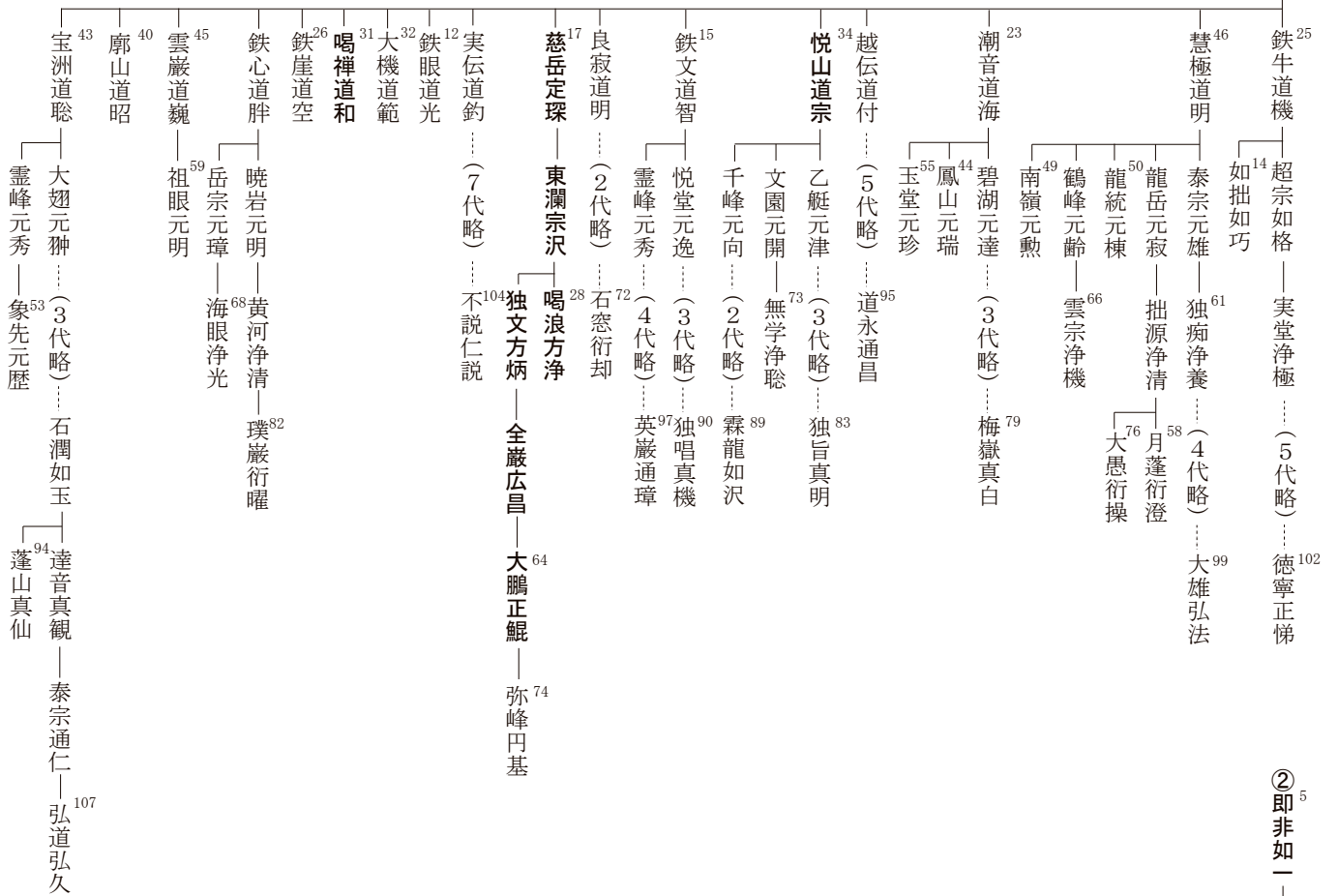
【凡例】

・人名の右上に付したアラビア数字は、「望月氏寄贈資料目録」黄檗関係墨蹟資料目録のNo.と一致している。
 ・ゴシック体の僧侶は唐僧(外国人)を示し、明朝体の僧侶は和僧(日本人)を示している。

・本系譜作成に当たっては、以下の文献を参照した。

- 『黄檗文化人名辞典』大槻幹郎他編(思文閣出版、一九八八年)
- 『禅学大辞典』(第六版) 禅学大辞典編纂所編(大修館書店、二〇〇〇年)

①木庵性瑠¹³



②即非如一⁵

